



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月12日

上場会社名 ユミルリンク株式会社 上場取引所 東
コード番号 4372 URL <https://www.ymir.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 亘
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小林 幹彦 TEL 03-6820-0514
配当支払開始予定日 2025年3月28日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	1,981	15.9	469	9.7	469	9.6	324	9.7
2023年12月期第3四半期	1,709	5.4	428	15.1	428	15.2	295	15.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	84.68	—
2023年12月期第3四半期	77.39	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	3,230	2,701	83.6
2023年12月期	2,780	2,374	85.4

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 2,701百万円 2023年12月期 2,374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	53.00	53.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2024年12月期期末配当の内訳 普通配当 16円00銭 記念配当 37円00銭

3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,570	11.0	610	3.0	610	3.0	420	2.7	109.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期3Q	3,892,600株	2023年12月期	3,892,600株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	60,837株	2023年12月期	62,837株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期3Q	3,830,765株	2023年12月期3Q	3,819,303株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項などについては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が今後も続くことが期待されるものの、資源価格の高騰などにより依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は引き続き「SaaS事業成長」「顧客価値向上」に向け、積極的に取組みを行いました。

当第3四半期累計期間におきましては、2024年7月に「Salesforce」※と連携する「Cuenote SMS for Salesforce」の提供を開始し、Salesforceの管理画面からシームレスにSMSを送信することを可能として、利用者の業務効率化に繋げております。

また、同月にコクー株式会社と提携しメール配信運用支援「メルサポ」及びデジタルマーケティングトータル支援「デジサポ」の提供を開始し、企業の課題に合わせて選べるメールマーケティング・デジタルマーケティング支援を行います。

さらに、8月にSMS配信サービス「Cuenote SMS」にオプションとして「他人接続判定機能」の追加、提供を開始し、電話番号の変更によりメッセージが本人以外に届くリスクの低減に繋げております。

サービス提供種別の売上高の概況は以下のとおりであります。

・ストック型収益：Cuenote SaaSのサブスクリプション(サービス利用)売上並びにソフトウェア保守売上が含まれます。当第3四半期累計期間は引き続きエンタープライズ企業への導入が進んだことに加え、配信数を増加できたことからストック型収益は1,918,066千円(前年同期比15.0%増)、当第3四半期末定期契約額は220,302千円(前年同期比17.3%増)となりました。

・スポット型収益：Cuenote SaaSの初期売上(初期利用登録、カスタマイズ、セキュリティ証明書などの取得代行)並びにソフトウェアライセンス売上(オンプレミス)が含まれます。当第3四半期累計期間の売上高はSaaSの新規受注が堅調に推移したこと並びにソフトウェアライセンス売上が伸長したことから、63,212千円(前年同期比50.7%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高は、1,981,278千円、営業利益は469,567千円、経常利益は469,214千円、四半期純利益は324,394千円となりました。

なお、当社はメッセージングソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

※「Salesforce」は、クラウド型のビジネスアプリケーションで、営業支援(SFA)・顧客管理(CRM)などの機能を中心に、複数の製品を組み合わせるプラットフォームです。

※「Salesforce」は、Salesforce, Inc. の商標です。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の財政状態は、前事業年度末に比べて、四半期純利益の計上により純資産が327,466千円増加し、良好な状態で推移しております。

資産、負債、純資産別の財政状態は以下のとおりです。

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べて、449,740千円増加し3,230,445千円となりました。これは主に売掛金の回収による現金及び預金の増加289,582千円、自社利用ソフト「CuenoteBASE」の開発を行っていることによるソフトウェア仮勘定の増加24,121千円及び関係会社株式の増加87,125千円並びに関係会社長期貸付金の増加11,250千円等によるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて、122,273千円増加し528,889千円となりました。これは主に賞与の支給に伴う未払費用の減少39,403千円及び未払法人税等の減少27,533千円、賞与引当金の増加110,087千円及び前受金の増加63,582千円等によるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べて327,466千円増加し2,701,556千円となりました。これは四半期純利益の計上による利益剰余金の増加324,109千円及び譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分による増加3,357千円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想については、2024年2月13日付「2023年12月期決算短信」で公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,089,150	2,378,732
売掛金	308,179	334,533
原材料	2,579	1,965
関係会社短期貸付金	-	2,749
その他	67,306	44,821
貸倒引当金	△833	△1,000
流動資産合計	2,466,381	2,761,800
固定資産		
有形固定資産		
建物	29,366	27,108
工具、器具及び備品	136,316	128,425
有形固定資産合計	165,682	155,534
無形固定資産		
ソフトウェア	17,199	13,198
ソフトウェア仮勘定	-	24,121
その他	93	93
無形固定資産合計	17,292	37,413
投資その他の資産		
関係会社株式	-	87,125
関係会社長期貸付金	-	11,250
敷金及び保証金	89,559	88,376
その他	41,787	88,945
投資その他の資産合計	131,347	275,697
固定資産合計	314,323	468,645
資産合計	2,780,705	3,230,445
負債の部		
流動負債		
買掛金	37,574	43,876
未払費用	132,911	93,507
前受金	29,565	93,147
未払法人税等	118,671	91,137
賞与引当金	-	110,087
その他	87,893	97,132
流動負債合計	406,616	528,889
負債合計	406,616	528,889
純資産の部		
株主資本		
資本金	273,853	273,853
資本剰余金	191,351	191,351
利益剰余金	1,996,792	2,320,901
自己株式	△87,908	△84,551
株主資本合計	2,374,089	2,701,556
純資産合計	2,374,089	2,701,556
負債純資産合計	2,780,705	3,230,445

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	1,709,725	1,981,278
売上原価	539,641	671,306
売上総利益	1,170,083	1,309,972
販売費及び一般管理費	741,930	840,404
営業利益	428,152	469,567
営業外収益		
受取利息	16	234
営業外収益合計	16	234
営業外費用		
支払手数料	2	0
株式報酬費用消滅損	-	349
雑損失	-	238
営業外費用合計	2	587
経常利益	428,166	469,214
税引前四半期純利益	428,166	469,214
法人税、住民税及び事業税	152,516	179,595
法人税等調整額	△19,937	△34,776
法人税等合計	132,578	144,819
四半期純利益	295,587	324,394

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年4月12日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬としての自己株式2,400株の処分を行っております。この結果、当第3四半期累計期間において、利益剰余金が285千円、自己株式が3,357千円減少し、当第3四半期会計期間末において利益剰余金が2,320,901千円、自己株式が84,551千円となっております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	58,557千円	59,792千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、メッセージングソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。